しんぶん 小金井

2021年 6月6日（日）

No.1785

URL http://www.jcpkoganei.com/ 日本共産党小金井市議団 検索

●発行 しんぶん小金井社
〔連絡先〕小金井市東町 4-27-4
☎ 042-381-0779 若木方

市民相談は日本共産党へ

森戸よう子 東町5-14-10 ☎ 042-383-0514
水上ひろし 緑町 1-6-7 ハイツ光 ☎ 042-301-9521
寺内だい作 貫井南町 1-21-13-102 ☎ 042-386-2525
たゆ　久貴 貫井北町 1-25-7-4 シルキーゼファーⅣ101 号室 ☎042-203-1362

都議選小金井選挙区 日本共産党 漢人あきこ予定候補の推薦を発表

6月25日告示、7月4日投票で都議選が行われます。

日本共産党北多摩中部地区委員会は、小金井選挙区について、すでに出馬を表明されている無所属・漢人あきこ予定候補（緑の党都連幹部）と政策協定を結び、推薦することを決定し声明を発表しました。

同予定候補を推薦した理由について声明では、「今回の都議選は、菅内閣や小池都政とそれらを応援する自民党、公明党と都民ファーストの悪政に厳しい審判を下さなければならない選挙」であると訴えています。

また、「市民と野党の共闘態勢が、昨年の宇都宮健児さんを擁立した都知事選と、同時に闘われた4つの都議補欠選挙で前進しました。

この共闘態勢をさらに発展・強化させることは、後に続く総選挙での野党連合政権への可能性と条件を広げることになります。悪政を推進する菅政権を退場させるという大義に立つことが重要と考えた」と述べています。

現在同予定候補について、日本共産党を含む立憲民主党、生活者ネットワークをはじめ無所属の市議会議員11名が応援を表明しています。

<プロフィール>
1960年静岡県生まれ。学芸大学中退。小金井市議4期16（1997年～2013年）。2012年緑の党グリーンズジャパン設立に参加。緑の党運営委員。

漢人あきこ予定候補との政策協定

①PCR検査を抜本拡充し、医療機関を支援や徹底した補償を進める
②保健所を増設・拡充させ、小金井市内での復活を目指す
③都立病院と公社病院の医療水準を引き下げる独立行政法人化ではなく、公的病院を充実させる
④横田基地へのオスプレイ配備を撤回する
⑤都市計画道路の中止・見直し

第2回定例会 6月3日から ワクチン接種会場の増設など予算が組まれる

6月3日（木）から25日までの日程で、第2回定例会が始まります。

主な議案は、補正予算が2件。今後10年間の小金井市の在り方や基本方針を決める「第5次長期基本構想（案）」が提案されています。

合わせて個人情報を民間企業に利活用され、国民監視が狙われているデジタル法案に基づく条例改正案が提案されています。

補正予算では、日本共産党がかねてから要求してきた、ワクチン接種会場を東小学校や南中学校に土日に増設する経費が計上されるとともに、高齢者や障がい者施設の定期的なPCR検査費用の補助、ひとり親家庭への給付金が計上されています。

4人の市議会議員は、新型コロナウイルス感染対策、ココバス問題やオリ・パラへの児童・生徒の観戦動員問題、新庁舎建設問題、都市計画道路問題など、一般質問等で市の対応を質していきます。

さらにオリ・パラ中止やLGBT法の早期実現を求める意見書などを提出し、国に対し積極的に声をあげていきます。

市議会全員協議会 ワクチン接種の予約受付の改善を求める

小金井市議会は5月28日（金）、市議会全員協議会を開催し、新型コロナウイルスのワクチン接種について質疑が行われました。

小金井市は、医師会の協力により市内の医療機関での接種が行われています。

6月2日現在で14，369人が第1回目の接種を完了しています。

日本共産党は市長に対しかかりつけ医のワクチン接種ができるようを要求してきました。

会議の中で、日本共産党は、①現在、インターネットでほとんどの医療機関の予約が取れない状況であり、医師会と調整し、インターネットで予約できるようにすること、②予約受付日を増やすこと、③64歳以下の接種について予約方法を年齢別など改善すること、④障害者や聴覚が落ちている高齢者の受付の改善を求めました。

市は、指摘されたことについて検討することを答弁しました。

裏面に、4人の市議の一般質問等を掲載

街から

こんなに国民の意識とかい離がありすぎる内閣ってこれまであったでしょうか。

新聞報道によれば、オリンピック・パラリンピック中止又は延期の声は約8割にもなります。

菅首相も小池首相も「蛇ににらまれたカエル」のよう。「安全・安心」「全力をつくす」と壊れたテープのように聞こえてくる意味のない言葉。こんなにレベルの低い答えしか出てこないのか…と思わずつぶやいています。

人の流れを抑えなければならないと専門家は声をあげているのに、小池都知事は代々木公園の貴重な樹木を伐採して、パブリックビューイングをつくろうとしていました。しかし、批判がひろがったため、ワクチン接種会場に転用すると一挙に方針変更。「素人でもわかることなのに、なぜトップに立つ人はわからないのか」と市民の怒り。決着の第一弾は7月4日に。

（森戸よう子）